

11年度第1四半期決算 説明資料

2011年7月
株式会社タダノ



損益計算書(対前年同期比較)

(単位:百万円)

	10年度 第1四半期		11年度 第1四半期		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	16,521	100.0%	19,594	100.0%	3,072
売上原価	13,210	80.0%	15,343	78.3%	2,132
割賦販売利益	103	0.6%	84	0.4%	-18
売上総利益	3,414	20.6%	4,335	22.1%	921
販管費	4,766	28.8%	4,453	22.7%	-312
営業利益	-1,351	-8.2%	-117	-0.6%	1,234
営業外損益	-176	-1.0%	-104	-0.5%	72
経常利益	-1,528	-9.2%	-222	-1.1%	1,306
特別損益	20	0.1%	16	0.1%	-3
税引前当期純利益	-1,507	-9.1%	-205	-1.0%	1,302
法人税等	-507	-3.1%	-93	-0.4%	413
少数株主利益	-5	0.0%	12	0.0%	17
当期純利益	-995	-6.0%	-124	-0.6%	870

【当四半期業績のポイント】

部品調達難による生産販売への影響あるも、増収、経常損失は改善

◆売上高

- ・連結売上高は、前年同期比で18.6%増加。
(国内売上高2.0%増加、海外売上高37.8%増加)
- ・海外売上高比率は、53.9%。

【東日本大震災の影響】部品調達難によるライン一時停止で建設用クレーンの販売に支障。トラックメーカーの生産落ち込みによるトラック入荷遅れで車両搭載型クレーンの販売や高所作業車の生産に支障。6月末でほぼ解消。

◆売上原価率

- ・原価低減により、売上原価率は78.3%、前年同期比1.7%改善。

◆経常利益及び当期純利益

- ・経常利益は、前年同期比13億円増。
- ・当期純利益は、前年同期比8億円増。

◆経常利益増減要因

- ⇒売上30億円増により 6億円
- ⇒売上原価率1.7%改善により 3億円
- ⇒割賦利益の影響により △0億円
- ⇒販管費の減少により 3億円
- ⇒営業外損益の改善により 1億円



1

貸借対照表(対前期末比較)

(単位:百万円)

	10年度末		11年度 第1四半期末		比較増減
	金額	比率	金額	比率	
手許資金	30,378	20.8%	33,447	22.1%	3,069
売上債権	30,498	20.9%	25,421	16.8%	-5,077
たな卸資産	30,771	21.1%	38,193	25.2%	7,422
その他	5,000	3.3%	4,809	3.2%	-190
流動資産計	96,648	66.1%	101,872	67.2%	5,223
有形固定資産	34,565	23.6%	34,301	22.6%	-264
無形固定資産	827	0.6%	812	0.5%	-14
投資その他の資産	14,124	9.7%	14,514	9.6%	390
固定資産計	49,516	33.9%	49,628	32.8%	111
資産合計	146,165	100.0%	151,500	100.0%	5,335
仕入債務	14,425	9.9%	19,588	12.9%	5,163
有利子負債	40,189	27.5%	40,722	26.9%	532
その他	15,956	10.9%	15,371	10.1%	-585
負債計	70,571	48.3%	75,682	50.0%	5,110
純資産計	75,594	51.7%	75,818	50.0%	224
負債・純資産計	146,165	100.0%	151,500	100.0%	5,335

【増減のポイント】

◆売上債権は減少

- 304億円 → 254億円
- ⇒売上債権回転期間は改善
(10年度:124.0日
→11年度第1四半期:118.1日)

◆震災影響もあり、たな卸資産は増加

- 307億円 → 381億円
(381億円のうちFAUNグループ分97億円)
- ⇒たな卸資産回転期間は悪化
(10年度:125.1日
→11年度第1四半期:177.4日)

◆有利子負債は増加

- 401億円 → 407億円
- ⇒短期 11億円増加、長期 6億円減少
リース債務 0.1億円増加

【志度工場7フレックスクレーンの生産の状況】

- ⇒第1四半期は部品調達難により、月産平均50台。
第2四半期 月産120台、下期 月産140~150台を目指す。
第1四半期での遅れを第2四半期以降で取り戻す計画。



2

製品別売上高



(単位:百万円)

	10年度第1四半期		11年度第1四半期		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	8,289	50.2%	10,418	53.2%	2,128	25.7%
車両搭載型クレーン	1,640	9.9%	1,779	9.1%	139	8.5%
高所作業車	1,218	7.4%	1,811	9.2%	593	48.7%
その他	5,372	32.5%	5,584	28.5%	211	3.9%
合計	16,521	100%	19,594	100%	3,072	18.6%

※建設用クレーン、国内及び海外の内訳

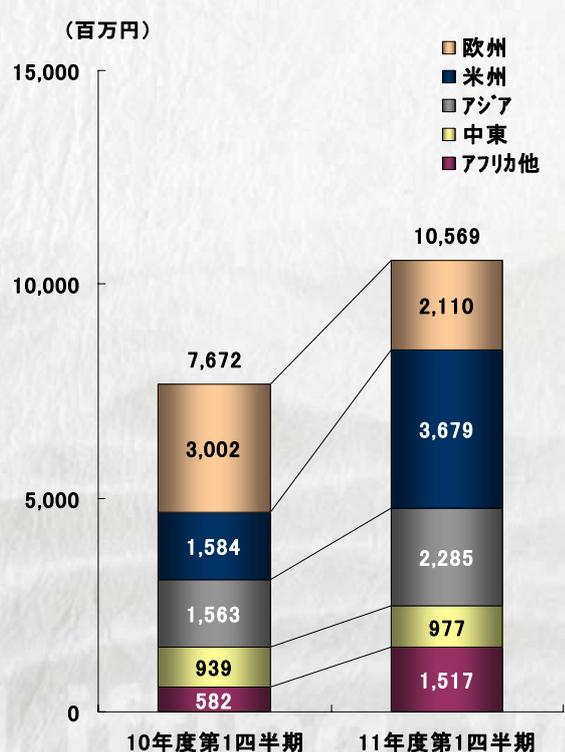
国内	2,851	2,338	-513	-18.0%
海外	5,438	8,080	2,641	48.6%

○為替レート(1-3月期中平均レート)

EUR	125.62	112.57
USD	90.70	82.34

※海外子会社12月決算のため、第1四半期1-3月平均

仕向地別売上高

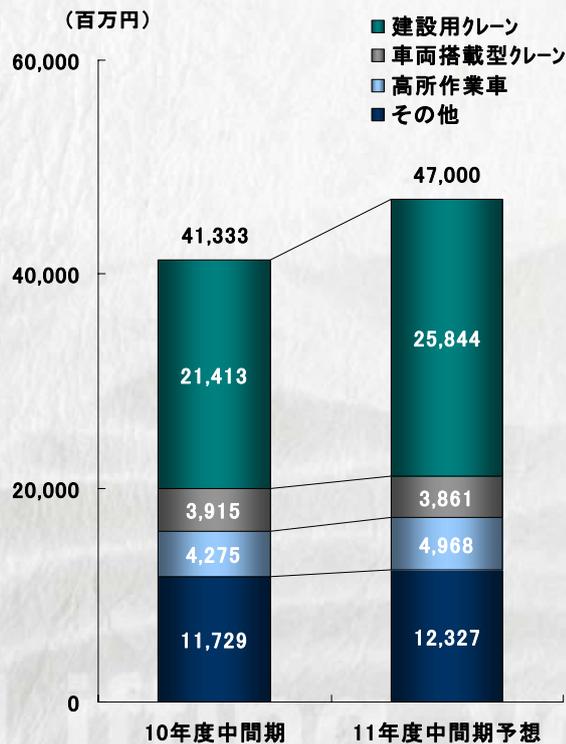


(単位:百万円)

	10年度第1四半期		11年度第1四半期		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
欧州	3,002	18.2%	2,110	10.8%	-891	-29.7%
米州	1,584	9.6%	3,679	18.8%	2,094	132.2%
アジア	1,563	9.4%	2,285	11.6%	721	46.1%
中東	939	5.7%	977	5.0%	37	4.0%
アフリカ他	582	3.5%	1,517	7.7%	935	160.6%
小計(海外計)	7,672	46.4%	10,569	53.9%	2,897	37.8%
日本	8,849	53.6%	9,024	46.1%	174	2.0%
合計	16,521	100%	19,594	100%	3,072	18.6%

※左のグラフには日本を含んでおりません。

11年度中間期業績予想 ～製品別売上高～



(単位:百万円)

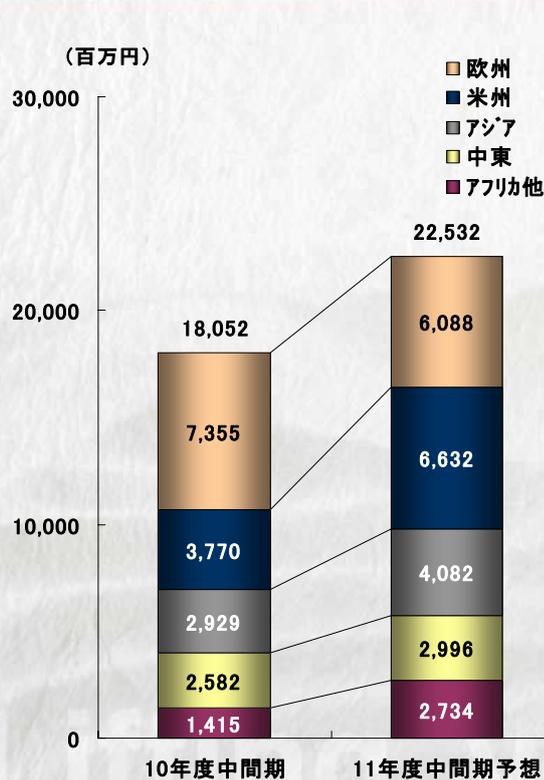
	10年度中間期		11年度中間期予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
建設用クレーン	21,413	51.8%	25,844	55.0%	4,430	20.7%
車両搭載型クレーン	3,915	9.5%	3,861	8.2%	-54	-1.4%
高所作業車	4,275	10.3%	4,968	10.6%	692	16.2%
その他	11,729	28.4%	12,327	26.2%	597	5.1%
合計	41,333	100%	47,000	100%	5,666	13.7%

※建設用クレーン、国内及び海外の内訳

国内	8,449	8,770	320	3.8%
海外	12,963	17,074	4,110	31.7%

※6月16日付発表の業績予想は変更していません。

11年度中間期業績予想 ～仕向地別売上高～



(単位:百万円)

	10年度中間期		11年度中間期予想		比較増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	増減率
欧州	7,355	17.8%	6,088	12.9%	-1,267	-17.2%
米州	3,770	9.1%	6,632	14.1%	2,861	75.9%
アジア	2,929	7.1%	4,082	8.7%	1,152	39.4%
中東	2,582	6.3%	2,996	6.4%	413	16.0%
アフリカ他	1,415	3.4%	2,734	5.8%	1,318	93.2%
小計(海外計)	18,052	43.7%	22,532	47.9%	4,479	24.8%
日本	23,280	56.3%	24,468	52.1%	1,187	5.1%
合計	41,333	100%	47,000	100%	5,666	13.7%

※6月16日付発表の業績予想は変更していません。

※左のグラフには日本は含んでおりません。